

《…はじめに…》

『マジックはエンターテイメントである…。』

エンターテイメントとしてマジックは最高だと思う。しかし、マジックのエンターテイメントとしての地位はさほど高くないように感じる。テレビなどでも多くのマジック番組が特番として組まれているが、内容からすると種明かしを売りにしたりマジシャン対決と称して相手のネタを暴くものが多く見受けられる。これはマジシャンが望んで出来た環境ではないはずだ。本来であれば日常では感じることのない奇跡(メニューからハンバーガーとかスプーン曲げとか…)を目前で起こし、そうした現象で感動や驚きを与えることが本望ではないかと思う。また、マジック違った角度から見ると、例えばスポーツや映画を見に行くという行為と同様に「マジックを見に行く」という感覚があるだろうか。一般的にはおそらく皆無だろう。せいぜいテレビでやっていて見ようかな…という程度だと思う。では、エンターテイメントとしてのマジックの地位をより高めていくにはどうしたらよいのか…。私たち「若手」に出来ることは限られてい

私たちがこれから出会うであろう一人一人の「お客様」を感動させ喜んでもらい、そうしてマジックに興味を持ってもらう。当たり前のことかもしれないけど、そうして「生で見る」ことのおもしろさを伝えていけば必ずと周りの見る目が変わってくるのではないかと考えています。つまり、私たちが先陣を切って頑張っていこうではないか！！ということ。



Magic Box

～第3回 レクチャー&オフ会 ノート

《開催日程》

- ・日 時 … H24/4/30(月) 13:00～17:00
- ・場 所 … 新宿 Bar S-Witch
- ・参加人数… 25人(予定)

《タイムスケジュール》

- ・主催者挨拶 …… 13:00～
- ・スケジュール説明 …… 13:05～
- ・レクチャー開始 …… 13:10～
- ・休憩 …… 13:40～
- ・レクチャー …… 13:45～
- ・休憩 …… 14:15～
- ・オフ会&物販ブース 開始 …… 14:20～
- ・記念撮影 …… 16:50～
- ・主催者挨拶 …… 16:55～
- ・閉会 …… ～17:00

《レクチャー講師のご紹介》 ～そうめんさん～

マジックを始めたきっかけは意外にも、なるほどザワールドに出演していた「トランプマン」の影響だというそうめんさん。そしてマジックに興味を持ち始めた小学校時代はテンヨーの「マジックテイメントシリーズ」を買い漁るところからスタート。その後もカードマジック事典を読み、カードカレッジを読み…その熱は冷めることなく、むしろ増す一方だったとのこと。

そして現在もその熱き思いは変わることなく、多くの知識と経験を持ち合わせた素晴らしいマジシャンに！！好きなマジックはどの問いには、自分自身が演じるならやはりカードとコインがお気に入りだそう。よく考え込まれたマジックや、マジックそのものに対する考え方なども必見！

《…講師のオススメ書籍…》



カードカレッジ 1-4

東京堂出版 ロベルト・ジョビー著

○ 用語、方法等の新たなスタンダードになっている本です。

こちらに関しては必読書と言えるでしょう。カードだけでなく、マジック全体について参考になると思います。特にカードカレッジ2の「セオリー」という項目は必読です。どんなレベルのマジシャンでも読む価値があります！！

《…コラム…》

突然ですが、次のシチュエーションを例に、動作とセリフの連動について考えていきたいと「現象…4枚のエースを示しテーブルに置くが、そのうち3枚は別のカードにすり替わって」方法としてはまず4枚のエースを抜き出し、左手の裏向のデッキ、トップから3枚目の下にブレ保持する。右手は4枚のエースを表向にエンドグリップで持つ。左手のブレイクより上の3枚をパケットのボトムにシークレットアディクションする。右手のパケット(計7枚)のトップを左手親指引き、計3枚を1枚ずつパケットで裏向にしながら左手のデッキのトップに取っていく。4枚目が見えたら右手のパケット(計4枚)をデッキのトップに置き、4枚目のエースを裏向にした後、4枚をテーブルに置く。

以上はよくあるシチュエーションだと思います。これにセリフを加えたとしたらどのようになるでい「今回は4枚のエースを使います。エースが1、2、3、4枚あります。このエースを使って、このようなものがよくあるセリフでしょうか。「1、2、3、4枚の」というところは「ダイヤ、クラブ、スペード」などにしても同じでしょう。実は、このよく聞くセリフは適切とは言えません。

ろ)「今回は4枚のエースを使います。このエースを使って…」というものが良いかと思ひさらに言うならば (は)「今回はある4枚のカードを使うのですが、何だと思ひますか？それエースです。このエースを使って…」が適切と言えるでしょう。

ポイントは「重複した表現は省く」と、「動機付け」です。

(い)のセリフではエースを4枚を2回示しています。普通ならば最初の「4枚のエースを使い十分ですが、「秘密の動作」の都合上、エースをもう一度数えています。結果、秘密のしたい重複した表現により強調されてしまうのです。(ろ)のセリフではそれが完全に省かれていまを左手で取る動作は「このエースを使って」の「こ」でスタートし、最後の「て」で終わります。「セリフは重複した表現がない上に「動機付け」もされています。つまりエースを見せる「動機」、エースを見せずにデッキから抜き取るのです。このとき、「1、2、3、4…」と数えてはいけエースは当然ながら4枚しかありません。当然のことを表現するのは2回表現しているのと同義もちろん「ダイヤ、クラブ…」も同様です。そして他のシチュエーションでも同じ事が言えますエルムズレイをするときに「1、2、3、4」と数えがちですが、4枚であることを強調したい場合(という現象の場合)以外は使用するべきではありません。

マジックは技法の組み合わせで出来るパズルではありません。が、都合上技法を使用しなければならないこともあるでしょう。技法でごまかすことには限界がありますが、その限界を超えるためにセリフが必須です。今一度セリフを見直してみてください。新しい知識がなくとも、セリフを見れば演技が良くなることでしょう。

BY そうめん

ご意見、ご質問などがございましたら下記アドレスよりご連絡下さい。
また、後日メールにてアンケートを送らせていただきます。マジック
ボックスの更なる発展のために、ぜひご協力お願い致します。

《マジックボックス代表 メールアドレス》

imazumasayuki@gmail.com

《mixi マジックボックスコミュニティ》

http://mixi.jp/view_community.pl?id=5774065

《マジックボックス公式HP》

<http://magicbox2.jimdo.com/>



平成24年4月30日 第3巻 創刊

制作 ・ 編集 関根 大夢

今津 雅幸

直すだけで